

議 事 録

会議名	令和7年度寒川町社会教育委員会議第1回公民館部会		
開催日時	令和7年6月25日（水）午前10時～11時50分		
開催場所	寒川町民センター 1階 会議室		
出席者名、 欠席者名及び 傍聴者数	出席者：黄木 悟、濱田品枝、山口明伸、森和彦、三澤米子 欠席者：なし 事務局：岡野生涯学習課長、山口生涯学習課副主幹、早川生涯学習課主任主事 指定管理者：別府町民センター館長 傍聴者：3人		
議 題	報告事項 (1) 公民館利用状況及び事業実績報告について (2) 指定管理施設に対するモニタリング調査について (3) 寒川町生涯学習推進計画「寒川学びプラン」令和6年度実績報告、令和7年度事業計画について 協議事項 (1) 地域学校協働活動の推進について (2) 関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会での役割分担及び研究発表について		
決定事項			
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1. 開会 あいさつ 山口部会長 岡野生涯学習課長</p> <p>2. 副部会長の選出 前任者退任に伴い、委員互選により決定 副部会長：三澤米子委員</p> <p>3. 議事録承認委員の指名について 各回名簿順に2名ずつ依頼について、委員了承。 第1回部会は濱田委員、山口委員が担当する。</p> <p>4. 報告事項 (1) 公民館利用状況及び事業実績報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 令和6年度公民館利用状況 • 公民館事業に関する町計画等の令和6年度実績 • 令和6年度公民館講座等事業実績 • 令和7年度公民館事業実績報告（4～5月分）について <p>事務局、指定管理者より資料2、3、4、5について一括説明</p> <p>【部会長】ただいまの説明に対しましてご意見、質問はございますか。 【委員】北部公民館の防災講座で大熊町の語り部の話を私も参加して聞きましたが、もちろん町民の方には聞いていただきたいのですが、各地区で防災活動をやっているのので、その役員をやっている方たちに聞いてほしいと個人的には思いました。福島でも防災訓練はしていたのですが、原子力発電所が爆発してしまったので、行政も警察も</p>		

消防もそれぞれで一所懸命やっているけれど、それをコントロールする場所は結果的には無くても、逃げろといわれてもどこにどうやって行けばいいか全くわからず混乱したそうです。想定外というのはいろいろな形があるから難しいかもしれませんが、スケジュールがあって、その通りにやりましたというのでは災害時はどうなるかわからないので、そういう生の声を聞けることは非常にプラスになると思いました。できればそういうことを広げた形でできるといいと感じました。

【部会長】はい、ありがとうございます。他にいかがですか。

【委員】北部と南部でそれぞれ子どもフェスティバルを実施していて、南部公民館は北部でやっているものを取り入れたということですが、私も小学校に着任して、PTA活動の「サム・ショータイム」や子ども自身が行う「寒小フェスティバル」などがあります。過去には各小学校でも同様のものやっていたようなのですが、コロナを機にそういう文化が継承されなくなっております。寒川小学校は復活しましたが、なかなかPTAの組織が難しくなっている中で、同じようにやりたいという声はあるけれど、社会教育の方で音頭を取りながらやっていただけていることは意義深いと思いました。なおかつ子どもが実行委員となっているところは、今の予測不可能な時代の中で、子どもたちが課題に対して自分で解決していく課題解決能力が問われているので、子どもの頃からこのような実行委員をすることを通じて非常に良い経験をして力をつけていける素晴らしい取組だと思えました。

【部会長】ありがとうございます。私は北部公民館生涯学習推進員をやっております、子どもフェスティバルの子ども実行委員はコロナが明けてから今年で2年目となりますが、去年実行委員をやってくれた子が今年も活躍してくれて、大分盛り上がってきていますので、私も嬉しく思っています。他にいかがでしょうか。

【副部会長】先ほどもご意見ありましたが防災講座はただ講座に参加しただけでは、家に帰ったら忘れてしまうと思います。こういうのは難しいのかもしれませんが参加した人を中心に地域づくりにつなげていくような形でできたら、単発ではなくて参加者に地域に広めてくださいと投げかけるとか、最初からこの講座は地域づくりの講座ですとか、地域づくりにつなげられるような講座であればすごく良いと思えました。

【事務局】北部公民館の防災講座は公民館生涯学習推進員の事業で、北部では毎年防災をテーマにした講座を実施しています。これまでは講師を防災士や町役場の町民安全課による講座が多かったのですが、昨年度は福島県が行っている語り部派遣事業に応募しました。これは応募しても必ず派遣されるものではなくて、内容やスケジュールが合えば派遣というところなのですが、無事に語り部の方に来ていただくことができました。毎年北部公民館では防災をテーマにした講座を実施しており、参加者の方もテーマの内容を見て、選択していただいていると思います。昨年度は福島で実際に体験した語り部が来られるということで、多くのご参加をいただきました。参加者もこういう話であれば聞いてみたいと高い意識をもって参加してくださったと思います。今後も同じように防災に関する様々な講座を行う中で、参加した方が次につながるような形になるといいと思います。実際に自治会に入っている方は毎年防災訓練をしておりますので、役員になったから訓練に出るというのではなくて、このような講座をきっかけに自主的に訓練に参加する方が増えてくれればと思っております。

【副部会長】毎年やっているのですね。

【部会長】はい、毎年やっています。今年は県の赤十字の方をお呼びして北部の防災講座をする予定です。

(2) 指定管理施設に対するモニタリング調査について

事務局より資料6、7、8、9について説明

【部会長】ただいまの説明に対しましてご意見、質問はありますか。

<意見なし>

(3) 寒川町生涯学習推進計画「寒川学びプラン」令和6年度実績報告、令和7年度事業計画について

事務局より資料10、11について説明

【部会長】ただいま事務局より説明いただきました。資料 10 の令和 6 年度実績報告については、各自で本日配付の資料をご覧の上、ご意見を記入用紙に書いて、7 月末までに提出いただきたいとのことです。ご意見、質問はございますか。

【委員】まとめの表で、例えば何年計画ということで毎回言っている話なのですが、目標値に対しての 3 年とか 5 年の計画ですが、その時の実績値に対してどうなるかを出した方がいいと思います。例えば実績が 200 でありながら、計画が 150、160 と下がっているものがある。それを単に目標値と見た場合に、皆 100%を超えていくようになってしまうのは計画としてよろしいんですか。何もしなくて、目標値と実績値を見ていたら 100 を超えているからいいですよねというのは仕事として何をしているのかと私は疑問に感じます。できれば 3 年なり 5 年なりのベースの実績値がいくらで、それに対して目標値がいくらになるのか、そして最終的な実績値がいくらになるのか示してくれないとわかりにくいのです。これだけを上の方が見られて、ああよくやっているなととられてしまうのは、それで本当にいいのかというのが個人的な見解です。

【事務局】ご質問いただいた内容について、私も同じ意見ではありますが、この寒川学びプランは上位計画である総合計画と整合性を図るように作成しているため、そういったご意見があったということも上の計画を管理している所管課には伝えていきたいと思っております。

【委員】今はもう動いてしまっているから、次回の計画を立てるときにはそういう見方を加味して計画を作ってほしいという要望です。

【事務局】わかりました。

【部会長】ほかにはいかがでしょうか。

【委員】さきほど事務局から説明がありましたが、私もこの第 2 次のプランを見た時に、まず事業が多すぎると思いました。これでは管理ができずに放置のような形になってしまうと懸念していたのですが、7 年度の計画では精選されていたので、これは非常に良いことだと思いました。あとは生涯学習課だけではない事業も入っているので、精選してしっかり管理できるような体制で計画を作っていくべきです。マンパワーも限られていますし、他課が管理しているものも町全体の総合計画と複雑に絡んでいたりするので、なかなかコントロールがうまくいかない部分もあると思います。そういった視点の中で今後は精選して、しっかり質を高めていくことが重要で、先ほどご意見ありましたが、細かいところにも目が行き届くようにするためにも、そういったことが大事だと思いました。

【事務局】本当にいただいたご意見のとおりだと思います。第 2 次学びプランを策定した当初と、第 3 次を改定するにあたっては、社会情勢も大きく変化しておりましたので、その時期ごとに本当に必要な目標を精査して 45 に絞った経過がございます。令和 3 年度からの第 2 次プランの時には、まだ LINE 利用なども満足ではない状況がありました。現在は SNS の活用も当たり前ようになってきています。そういう状況の変化もありましたので、それを踏まえ、また上位計画との整合性も諮りながら第 3 次の改定をいたしました。今後は教育振興基本計画への包含ということで、さらに中身を見直しして、より今の時代に適したものにまとめていきたいと考えております。

【部会長】ほかにはよろしいですか。それでは時間も限られておりますので、意見等を記入用紙にお書きいただけますようお願いいたします。

5. 協議事項

(1) 地域学校協働活動の推進について

事務局より資料 12 について説明

【部会長】ただいま事務局より説明がありました。事務局より資料 12 の 9 頁から協議事項として 3 つ提案がありました。まず、「3. 取組方策」のための前提として、「1. はじめに」の部分に、文科省の掲げる一般論ではなく、「寒川町の目標」を定めた方がよいのではないかとのご意見が前回会議までにありました。その目標について何かご提案があるか、「取組方策」として目標を達成するためのテーマについてもどのようなものが考えられるか、9 頁の①「寒川町の目標」と 10 頁の②の目標を達成するため

のテーマについて、委員の皆様からご意見やご提案ありましたらお願いいたします。

【事務局】 前回の会議で、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」という文科省で提唱している一般的なフレーズなのですが、そのことについてイメージが湧かないというご意見がありました。学校の場合は学校ごとにそれぞれ目標があるが、地域に目標は無いのではないかとご意見でしたが、果たしてそうだろうかというところがあります。そこで一般論ではなく、寒川町らしさを出してはどうか、でも寒川町らしさとは何かを思い浮かべないというのが昨年度までの意見でした。

【委員】 ちょっとわからないのですが、学校というのはそれぞれの校長の考え方によるものが大きいのでしょうか。例えば、校長が今年には自分の学校ではこういうことをやると決めれば、その比重は大きくなりますか。

【委員】 9頁にもあるとおり、町の教育大綱や教育振興基本計画が定められているので、この中でやはり各学校もその定めに応じて学校の教育目標を作り、学校の経営方針を作っていますので、大枠は定まっています。また学習指導要領や教育基本法といった法令もあります。ただ、その中で具体的な取り組みについては各学校の校区に地域の特色がありますので、例えば伝統など、寒川小学校も非常に歴史がある学校なので、地域の方やPTAの方とは脈々とつながりがあります。先ほども話しましたが、PTAのおまつりなども休止していたものが再開したり、一之宮小学校でも一昨年度あたりのコロナ禍が明けて来た頃から地域のおまつりと学校が連携しながら行っていたり、そういった地域の特色も含めながら子どもの実態に応じてやっています。大枠は決まりながらも、そういった部分で多少違いが出てきたり、具体的な取組に違いが出てきたり、各校長たちの強みというのもそれぞれ違うので、そこで特色が出てきます。概ねは同じで、大きな町ではありませんので、校長会で足並みをそろえております。完全に決まってはいませんが、ある程度定められた中で、具体的な取組は特色を出せるという形で運営しています。

【委員】 ありがとうございます。

【事務局】 神奈川県が作成した地域学校協働ボランティアハンドブックの29頁に海老名市の大谷小学校の事例が載っています。大谷小学校の学校教育目標は「自立・夢を拓く人」としまして、その目標に対してどういうテーマで進めていくかということがその下に「追究する子」「創造する子」「協働する子」を育てるためにはどのようなことを行っていくか、取り組むことが書いてあります。これが学校の目標についての参考事例になると思います。その中で大谷小学校ではコミュニティスクールとして「地域との関わりで育つ大谷っ子」をテーマに地域学校協働活動をつなげていこうとしているのではないかと思います。31頁が二宮町の事例ですが、ここはキャリア教育をテーマにしているいろいろな活動をしているのではないかと思います。

【部会長】 要するに学校と地域で子どもたちを育てるためにはどうしたらよいかということでしょうか。地域を含めて、そこを考えていくために、それにあうテーマと目標を考えるということですが、難しいですね。

【委員】 寒川独自の目標というところでは、あまり狭くしてしまうと各学校の特色が出しづらくなってしまいます。もともと根本で寒川の地域性を考えた上で、町の首長部局を中心に町の教育大綱が定められて、そして教育委員会の中で教育振興基本計画を定めて、9頁の参考の部分にその理念があり、非常に素晴らしいものだと思っています。やはりこちらを共通認識として、その大元を生かしながら文部科学省が例示しているような「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」の両面を考えた上で、この計画や大綱を参考にした文言を加えていくとよろしいのではないのでしょうか。これに寒川の地域の特色が込められていると思います。

【部会長】 9頁の参考にある部分が寒川に合っているということになりますからね。

【事務局】 ここにある言葉を生かして、地域学校協働活動の目標としてはどうかと思いますが、これはあくまで社会教育委員からの提言なので、そのまま絶対に採用されるということではないのですが、この提言をもとに、取組を考えていく上で、10頁には目標に達成するためのテーマを設定しましょうといくつか例を挙げています。例えば郷土学習や読書活動の推進や安心安全活動について目標を達成するためにはこのような取組が考えられるのではと事例を出しておりますが、委員の皆様からも寒川として

これを取り組んだ方がいいのではないのかという案がありましたら出していただけるといろいろ広がっていくのではないかと思います。

【委員】先ほど、寒川は狭いけれども地域の特性があるとの話が出ていましたが、私は寒川で生まれ育ったわけではないので、自分の住んでいる地域のことしかわかりません。それをトータル的にと言われると悩んでしまいます。

【事務局】ご自身のよく知っている地域のことで考えられる事例をあげていただけるとありがたいです。わからない地域のことは提案できませんので。

【委員】まず目標は教育大綱や教育振興基本計画を大事にという話を先ほどさせていただきましたが、具体的に申し上げますと「ともに学び」とか「絆を深める」「自己実現」「共生」など良い言葉が出ています。「つながり」なども地域と絡んでいくことを考えて、そういった言葉をぜひ出していってもらえるといいと思います。もう一点、目標を達成するためのテーマというところで、10頁に例示をいくつかいただいておりますが、私も埼玉県出身なので、寒川に赴任した時に、寒川といえばまず寒川神社が思い浮かびました。他県でも知られている神社があり、歴史や伝統文化、鎌倉時代の武将のことや、遺跡もあるなど深い歴史のある町だと感じています。ここに郷土学習が例示されているのはなるほどと思いました。それと安心安全というところは、昨今さまざまな不審者情報が入りますが、先日は町内で強盗事件が発生するなど子どもたちの登下校に支障が出たこともありました。そういったことでは本当に課題であると思いますが、なおかつPTAの保護者も共働きが当たり前の時代になってきて、なかなか厳しい状況があります。他市町村、全国的にもPTAというのはだんだん無くなってきており、任意加入になるといった問題がある中で、時代に応じた安心安全を確保していくためには、地域とともに子どもたちを守っていかねばならないと切実に感じています。安心安全も例示されていますので、素晴らしいと思っております。また全国的にもそうですが、外国に関わりのある方々、子どもたちも増加傾向にあります。グローバル化といわれていますが、今年度から小谷小学校では国際教室という外国籍の子に日本語指導等を行う教室も設置されました。これはある一定数、日本語が困難な外国籍の児童生徒がいる学校に設置できるものなのですが、人数が増えてきたということで設置に該当するようになった新しい動きです。今後もこうしたグローバル化の動きは、先ほど「共生」という言葉もありましたが、日本人、日本国籍をもった中での世代間の共生も大事ですし、グローバル化した中での共生もお互いの文化を大事にしながらかんたんに生かしていき、こういうことが今後の課題になっていくと思います。寒川町ではかなりグローバル教育も力を入れておりますので、そういったものが入ってもよろしいのではと思います。

【部会長】ありがとうございます。寒川というと先ほど話にありましたが、歴史もあり、自然も豊かであり、これからどんどん変わっていく部分もあります。寒川を知ることが子どもたちには必要だと思います。小谷小学校では田んぼ学習を続けていて、この地域での特色があります。それを含めて考えていくのかなと思いました。

【事務局】寒川のことを知る学習には地域の方も関わっていただけるといいと思います。寒川町は歴史文化だけでなく、産業として工場もたくさんあります。これも寒川のひとつの特色だと思います。これは企業や地域の方も関わっていただいて、子どもたちに新しいことを学ぶ場がつかれるといいと思います。本日はまた新たなテーマとして、グローバル化や自然を知ることをご意見いただきましたが、北部公民館エリアでは毎年ホタル観察会をやっていて、多くの方が来ていただき、今度は南部公民館で「絶滅危惧種のトウキョウダルマガエルを探そう」という小学生向けの講座を開催します。実はそういう希少生物が寒川町にもいるということはなかなか知られていません。これからの寒川の子どもたちに自然環境のことも知ってもらいたいという思いもありますので、今は公民館の取り組みですが、これが学校と連携した形で多くの子に提供できたらいいのではないかと思います。

【副部会長】皆さんの意見を含めて、私はやはり郷土を愛してほしいので、「郷土愛を育てる」という言葉を入れてほしいです。多分、外国の方も今住んでいれば、そこが郷土になると思います。その子たちがいずれ巣立っていくかもしれませんが、その郷土が良かったと思うような町にしたいです。

【部会長】はい、ありがとうございます。

【事務局】食育活動も必要とされていて、この頃は家庭で親子一緒に料理を作らないという話も聞きます。子どもたちが料理に親しむ機会は少なくなっていて、学校の授業でも調理実習はアレルギー対策や給食センター化したことにより、授業で取り組みにくくなっていると状況があるようです。公民館の子ども向けの料理教室は人気がありまして、公民館の職員に話を聞くと、最近の家庭では子どもが料理をつくると台所を汚すとか、片づけが大変だとか、時間がかかるとか、なかなかゆっくり子どもと調理をしないので、外で教えてくれるところがあって、そこに参加させたいという意向の親が増えているようです。料理は当たり前でできるようになる技術ではありませんので、子どもの頃から料理に親しむことで身に付き、料理や食事や栄養に関心をもつようになると思います。婦人会にも毎年夏休みに小学生向けの料理講座を実施していただいています、いかがでしょうか。

【委員】私は寒川で生まれ寒川育ちなので、寒川のことはよく知っているつもりですが、私の子どもに言わせると、最近の子どもは家庭では良い子なのだけど、外に出るとちょっと怖いところもあるそうです。それは親からのしつけもあるのかと思います。先日も婦人会で小谷小学校近辺の危険箇所点検を歩いて写真を撮ってきましたが、その時にゴミを拾いながら歩いていたのですが、たばこの吸い殻がすごく多かったです。幼稚園くらいの子もいて、何かを手にもって紙をやぶいて遊んでいて、見せてもらったら、タバコの吸い殻でした。私たちも驚いて、これは毒だから危ないよとゴミ袋に入れましたが大人がたばこくらいなら構わないと思って投げ捨てをしています。私も寒川神社のそばで育ち、家の中も日本風で暮らしていますが、そういうことを尊重したいと思っています。婦人会でも研究発表がありますが、寒川神社のことや農業のことなどいろいろ話をしています。子どもにもそういうことを教えてあげたいです。今の子は戦争のことも、親から聞いてもその場だけですぐ忘れてしまいがちですが、ある時、ひ孫と話しをしたら、「戦争はいけないよね。大人同士がけんかしているのと同じだよ」と言うので、ひとつの食い違いでもって相手のものが欲しいとなってしまうのはなぜなのだろうねと話しました。先ほども話がありましたが子どもの料理も基本がなっていないから、フライパンの使い方、包丁の使い方から教えます。フライパンも上手く使えれば火傷しません。持ち方を教えて子どもたち自身で作らせます。私たちは見守っていて、危ない時だけ手を出します。今度オムレツを作りますが、フライパンの柄にふきんをかけないで、持ってごらんとやらせてみます。包丁も今のお母さんたちは何でも手でちぎるのがいいとって使わないです。今の30、40代の方を見ていると怖いと思います。私は食改善の団体に30年以上入っていて、料理教室には子どもたちは男の子も女の子もずっと連れていっていました。倉見に住んでいます自分たちで自転車に乗って、一列に並んでくるように言って来させて、帰りは一緒に帰りますが、小さい子でも自転車で通わせていました。私は子どもたち、とくに男の子が警察のお世話にならないか、もし非行に走ったらどうしようと心配でした。祭ばやしに子どもたちを参加させましたが、そういう活動に参加すると、友達もできて皆いい子になってきます。悪い遊びはしないようになるので、すごく安心していました。今は余生を送ろうと思ったら、こういう役になったので、ここに参加していますが、寒川はいいところですよということを伝えたいです。このままの町でいてほしいと思います。

【部会長】はい、ありがとうございました。

【委員】今のお話でひとつお聞きしたいのですが、子どもの料理教室で包丁などを当然使われるわけですが、例えば手を切ったり、火傷をしたりした場合は親に「こんな危ないことをさせて」とは言われませんか。

【委員】薬なども用意をしています。ケガなどの場合は親に伝えていますが、そういうことを言われたことはありません。

【委員】それならばいいのですが。聞いた限りで大丈夫なのかなと思いました。

【委員】申込の時にも、もしケガをしたらごめんなさいねとは言っています。でも大きなケガをしたことはありません。火傷もフライパンをちょっと触ってしまったり、危ないよと言いつつ聞かせても、早くやりたくて、熱いところを触ってしまったりすること

があるので、お迎えに来た親にケガをした状況は伝えています。そのことで何か言われたことはないです。

【部会長】それでは時間も迫ってきておりますので、「学校を核とした」というだけでなく、地域学校協働活動なので地域も育てるということでもよろしいですか。公民館や工場など町内にいろいろな施設がありますので、そういうことも含めて子どもたちの成長のために進めていくのかと思います。

【事務局】先ほどもご意見いただきましたが、つながりや共生といった言葉をうまく目標に入れて、それに関連するテーマでいろいろと地域のことの学習や、歴史文化について学ぶことや安心安全について取り組むことがつながりと共生のテーマとして考えられるのではと、今日の皆様のご意見を聞いて、ひとつの方向性が見えたのではないかと思います。また同じ協議を明日の図書館部会で行いますので、本日公民館部会で出た意見を交えつつ、お伝えしてまいります。お互いの部会の意見をあわせて、提言書の案に取り入れてまいります。

【部会長】はい、今日の委員から出た意見をうまく取り入れていただいて、郷土愛という言葉も出ましたので、目標とテーマにまとめていただきたいと思います。残りの3と4については、次回以降ということでもよろしく願いいたします。残りの協議事項がありますので、地域学校協働活動についての協議は本日ここまでといたします。

(2) 関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会での役割分担及び研究発表について 事務局より資料13について説明

- 現段階での大会出席予定者の確認
11/20・21の両日可能：山口、三澤、森
11/20のみ：黄木
11/21のみ：
未定：濱田

【部会長】2日目の事例発表者と接待の社会教育委員の協力について、これは公民館部会と図書館部会からそれぞれ選出になりますか。

【事務局】事例発表については25分間の予定ですが、公民館と図書館の内容を入れる予定なので、それぞれの部会で1人ずつでもできますし、代表1人出ただいて、社会教育委員として発表いただくことでも構いません。当初、事例発表者は誰でもよいとのことだったので、教育委員会職員で提出していましたが、急に県事務局からやっぱり社会教育委員も発表者に入れてほしいという要請があったもので、会議で検討してから返答しますと伝えてあります。

【部会長】これは発表内容を見てから決めるということでもよろしいですか。

【事務局】まだ発表内容が出来ていないもので、次回8月の会議で素案を社会教育委員の皆様にお示ししたいと思っております。なお、開催案内の発出に向けて、とりいそぎ分科会発表のテーマや発表者の名前の確認が来ておりますが、社会教育委員の個人名が未定の場合は「寒川町社会教育委員会議」とだけ現段階では示しておくこともできます。

【部会長】今ここで決定しなくてもよければ、原稿案を見てからにすることでよいですか。

【事務局】それでは、8月の会議で素案をお出ししますので、その時にあらためて選出いただけますようお願いいたします。なお、9月1日の県社教連研修会がありまして、そこで事例発表のリハーサルを行う予定です。それまでに原稿案とスライド案は作成しなければなりませんので、8月の会議でいろいろご意見をいただいたものを取り入れて、9月のリハーサルに臨みたいと思います。さらに本番までそこから2か月ありますので、改めて修正していきます。地域学校協働活動の協議と並行してこの関東ブロック大会の発表が割り込んできたので想定外であったため、発表原稿確認などで貴重な協議時間を割いてしまうこととなり申し訳ありません。

【部会長】それでは原稿案を見て、公民館部会と図書館部会から1名か、もしくは代表

	<p>して1名か次回選出したいと思います。</p> <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の部会の開催予定について 当初予定より変更 第2回：8月で調整中 第3回：10月30日（木）10:00。 <p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会（総合教育センター）9月1日（月） 関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会（横浜市）11月20日（木）21日（金） 県公民館大会（足柄上合同庁舎）1月23日（金） <p>7. 閉会</p> <p>三澤副部長</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和7年度寒川町社会教育委員会議 公民館部会 名簿</p> <p>資料2 公民館利用状況一覧（令和6年度）</p> <p>資料3 公民館事業に関する町計画等の令和6年度実績</p> <p>資料4 令和6年度公民館事業実績</p> <p>資料5 令和7年度公民館事業実績（4月分・5月分）</p> <p>資料6 指定管理施設に対するモニタリング評価のフローチャート</p> <p>資料7 モニタリング票・総括評価表の各項目説明</p> <p>資料8 令和6年度町民センター等指定管理業務総括評価票（最終確定版）</p> <p>資料9 令和6年度町民センター等利用者満足度調査結果</p> <p>資料10 寒川学びプラン令和6年度事業実績報告</p> <p>資料11 寒川学びプラン令和7年度事業計画</p> <p>資料12 令和6・7年度公民館部会の協議テーマ_地域学校協働活動の推進について（案）</p> <p>資料13 関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会開催要項（案）等</p> <p>資料14 令和7年度寒川町社会教育委員会議日程（R7.6月時点）</p> <p>参考資料 地域学校協働ボランティアハンドブック（神奈川県教育委員会）</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>濱田品枝 山口明伸</p> <p style="text-align: right;">（令和7年8月6日確定）</p>